EUSTYLE LABORATORY

介護施設の種類と選び方

6つの施設の違い・費用の考え方・入居までの流れを、
はじめての方にもわかりやすくまとめました。

01 施設の種類と特徴

02 費用の考え方

03 入居までの流れ

ユースタイルラボラトリー株式会社

CONTENTS

この資料でわかること

01

P.03–11

施設の種類と特徴

公的施設2種類・民間施設4種類の違いと、それぞれの良い点・注意点。

- 施設の全体像
- 6種類の施設の特徴
- サービスの受け方の違い
- 一覧表（まとめ）

02

P.12–16

費用の考え方

パンフレットの金額だけでは見えない「支払い総額」の考え方。

- 月額費用の内訳
- 費用チェックシート
- 一時金のしくみと返金額
- 敷金と一時金の違い

03

P.17–18

入居までの流れ

有料老人ホームに入居する場合の、ホーム選びからご入居までの6ステップ。

- 見学ホームの選定・見学
- 入居意思・医療データ
- 入居判定・契約
- 入居準備・ご入居

© ユースタイルラボラトリー株式会社

OVERVIEW

介護施設は大きく6種類

公的施設 費用を抑えやすい

1 特別養護老人ホーム 特養

原則 要介護3以上。収入に応じて費用が下がる可能性。

月 6〜13万円

2 介護老人保健施設 老健

リハビリで在宅復帰をめざす「中間施設」。

月 9〜20万円

民間施設 選択肢が多く、特色もさまざま

3 グループホーム

認知症の方が9人1ユニットで共同生活。

月 10〜20万円台

4 介護付き有料老人ホーム

介護をホームのスタッフがまとめて提供。人員基準あり。

月 11〜30万円台

5 住宅型有料老人ホーム

外部の介護サービスを選んで利用。自宅に近い暮らし。

月 9〜20万円台

6 サービス付き高齢者向け住宅 サ高住

「住宅」に見守り等のサービスが付いたもの。住宅型とほぼ同じ。

月 9〜20万円台

※費用は目安です。地域・施設・収入・介護度により変わります。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

公的施設　介護保険上の名称：介護老人福祉施設

特別養護老人ホーム

通称：特養（とくよう）

費用が安くなる可能性があるため入居希望の方が非常に多く、全国の待機者は**約27万人以上**（2023年5月時点）。受入条件は原則**「要介護3以上」**で、**要介護2以下の方は入所できません。**

良い点

- **収入に応じて費用が安くなる可能性がある**
- 重度介護の方も受け入れが可能
- 社会福祉法人が運営している

注意点

- **満床の場合が多く、受け入れ審査に時間がかかることがある**
- 多床室（相部屋）が多く、重度介護の方が中心
- 日中は基本リビングで過ごすため、自室で過ごす自由は少なめ

月額費用の目安

6〜8万円（相部屋）／9〜13万円（個室）

入居一時金・敷金	外部の介護サービス
なし	利用できない

ワンポイント

入所は申し込み順ではなく**「優先度」（介護の重さ・住む場所がない等）**の高い方から。順番がいつ来るかは読みにくく、民間施設で待つ方もいます。逆に、意外とすんなり入れることもあります。

※収入によって費用は変わります。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

公的施設　介護保険上の名称：介護老人保健施設

介護老人保健施設

通称：老健（ろうけん）

「中間施設」と呼ばれる施設です。介護を必要とする高齢の方が、医師の指導のもとで看護・介護・リハビリを受けながら**在宅復帰をめざします。**ずっと入れる施設ではなく、3〜6か月入所する方が多いです。

良い点

- **リハビリが集中的にできる（リハビリの専門職がいる）**
- 医師が常駐している
- 民間のホームより少し安い場合がある

注意点

- 3か月間の短期入所が基本で、長く入所できない可能性がある
- 薬代を老健が負担するため、高額な薬を使っていると入所を断られるケースがある

月額費用の目安

9〜20万円（収入によって変化）

入居一時金・敷金

なし

外部の介護サービス

利用できない

ワンポイント

病院・老健のリハビリは、身体の機能を**「改善」させる短期のリハビリ**。ほかの施設のリハビリは、身体の機能を**「維持」する長期のリハビリ**。同じリハビリでも意味合いが違います。

※収入によって費用は変わります。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

民間施設 介護保険上の名称：認知症対応型共同生活介護

グループホーム

認知症対応型共同生活介護

認知症の診断を受けた方が入居できる施設です。**1ユニット（1グループ）9人**で共同生活をし、2ユニット・18人定員のことが多いです。残存機能を大切にする暮らしで、家事ができる方は家事も担います。

良い点

- **認知症の専門施設なので、認知症の方に合った生活ができる**
- 小規模な定員なので、一人ひとりの状況を把握しやすい

注意点

- 活発な生活というより皆で穏やかに過ごすため、刺激は少ない可能性がある
- 定員が少ないので、空き室が少ない
- レクリエーションなどは少なめ

月額費用の目安
10〜20万円台

入居一時金・敷金
0〜数十万円

外部の介護サービス
利用できない

ワンポイント

物忘れのある、比較的お元気な方が入居しています。長く住まわれる方が多く、満床の施設が多い傾向です。家事などができる方は、手伝いを通じて認知症の進行予防に努めています。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

民間施設 介護保険上の名称：特定施設入居者生活介護

介護付き有料老人ホーム

特定施設

民間のシニアホームですが「特定施設」の認可を受けており、**人員体制に基準があり安心**できます。介護サービスの負担額が明確な**「定額制」**のため、追加料金の心配が少ないです。要介護度が軽くても入居できます。

良い点

- **介護サービスが包括的で、施設の中で介護が完結する**
- **介護職員：入居者3名に1名以上／看護職員：入居者30名に1名以上（日中）**
- 大手の事業者が運営する傾向がある

注意点

- 人件費がかかるため、費用が高額な施設が多い傾向
- ほかのシニアホームと比べ、自由度が低い場合がある
- 外部のデイサービスや福祉用具レンタル等には介護保険が使えず、実費負担になる

月額費用の目安

11〜30万円台

入居一時金・敷金

0〜数千万円

外部の介護サービス

利用できない

ワンポイント

「民間の特養」と言われることもありますが、公的な施設ではないため、人件費が整っている分、高額になりがちです。医療面の対応は施設によって異なります。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

民間施設 介護保険上の名称：なし

住宅型有料老人ホーム
サービス付き高齢者向け住宅

通称：サ高住（さこうじゅう）

基本的に**自宅と同じように暮らしながら**介護サービスを受ける考え方です。介護サービスは**担当のケアマネジャーがケアプランを作成**します。サ高住は「住宅」にサービスが付いたもので、**住宅型とほぼ同じ**です。

良い点

- ホームによっては**デイサービスやケアマネジャーを継続できる**ため、自宅に近い生活を送れる
- どんな支援を受けるかを、自分で選べる

注意点

- **人員体制の決まりがない。介護保険が上限を超えると自費対応**
- **施設によってサービスの質や料金設定に大きな差がある**

月額費用の目安
9〜20万円台

入居一時金・敷金
0〜数千万円

外部の介護サービス
利用できる

ワンポイント

法的な人員配置の縛りはありませんが、各社の工夫で特色が出ています。①**安全**に特化、②**医療やリハビリ**に特化、③**お元気な方向け**など一番多彩なホームです。そのぶん選択肢が多く、選ぶのが難しくなっています。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

サービスの受け方の違い ①

介護付き有料老人ホームは「まとめて定額」

ホームの中で完結

利用権方式

食事	健康管理	身体介護
生活介護	看護師	見守り

包括サービス：ホーム所属のスタッフがサービスを行います。
ケアマネジャー／ホームヘルパー／機能訓練指導員／看護師など

たとえば **電話の「かけ放題プラン」のようなイメージ。**
介護サービスの利用が多い方ほど、何回利用しても定額なのがメリットです。

介護付き有料老人ホームの介護費用（30日あたり）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
介護保険単位数 単位／30日	16,355	18,362	20,490	22,435	24,533
介護保険報酬 円／30日	163,550	183,620	204,900	224,350	245,330
自己負担額 円／30日・1割負担	16,355	18,362	20,490	22,435	24,533

※特定施設入居者生活介護費。出典：厚生労働省資料「介護報酬の算定構造」（2024年1月22日）
※1単位＝10円、自己負担＝1割で概算。施設ごとに加算を取っている場合は、料金が上乗せされます。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

サービスの受け方の違い ②

住宅型・サ高住は「使った分だけ」

住まいとして借りる

賃貸借方式

- 食事
- 安否確認
- 生活介護
- 施設のサービス

＋ 外部の介護保険事業所からサービスを受ける
ケアマネジャー／訪問介護・訪問看護／デイサービス・デイケア

たとえば **アパートを借りるようなイメージ。**介護サービスは使った分だけの「個別料金」で、自由に選べます。介護サービスの利用が少ない方にはメリットがあります（ご自宅で使うサービスと同じです）。

介護保険の利用限度額（1か月あたり）

介護度	利用限度額	自己負担額（1割）
要支援1	50,320円	5,032円
要支援2	105,310円	10,531円
要介護1	167,650円	16,765円
要介護2	197,050円	19,705円
要介護3	270,480円	27,048円
要介護4	309,380円	30,938円
要介護5	362,170円	36,217円

※居宅サービスの区分支給限度基準額。1単位＝10円、自己負担＝1割で概算。
※限度額を超えた分は全額自己負担になります。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

SUMMARY

施設の種類一覧（まとめ）

	公的施設		民間施設			
	特別養護 老人ホーム	介護老人 保健施設	グループ ホーム	介護付き 有料老人ホーム	住宅型 有料老人ホーム	サービス付き 高齢者向け住宅
介護保険上の名称	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	認知症対応型 共同生活介護	特定施設入居者 生活介護	なし	なし
月額費用	**6〜8万** 相部屋 **9〜13万** 個室・収入で変化	**9〜20万** 収入で変化	**10〜20万台**	**11〜30万台**	**9〜20万台**	**9〜20万台**
入居一時金・敷金	**なし**	**なし**	0〜数十万円	0〜数千万円	0〜数千万円	0〜数千万円
外部の介護サービス	利用できない	利用できない	利用できない	利用できない	**利用できる**	**利用できる**
特徴	原則**要介護3**から入居可。年収の低い方には安いが、年収がある程度ある方は民間施設と同程度。**医療面には弱い**場合も。	**中間施設**。ずっと入れる施設ではない。**リハビリ目的**で、3〜6か月入所する方が多い。	**認知症**の診断を受けた方が対象。比較的お元気な方が9人1組で生活。家事を通じて進行予防。	**施設の中で介護が完結**。定額制で追加料金の心配が少ない。**要介護者3名に介護職員1名以上**。	アパートのように一部屋を借りる「住宅型」。**どんな支援を受けるか選べる**。外部サービスも利用可。	「住宅」にサービスが付いたもの。**住宅型とほぼ同じ**で、現状は分類による介護力の優劣はない。

※費用は目安です。地域・施設・収入・介護度により変わります。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

シニアホームを選ぶポイント【料金編】

料金は「総額でいくらになるか」で考える

シニアホームは種類も数も多く、探すのは難しいものです。まず押さえたいのは**「総額でいくらか」「重度の介護になっても払い続けられるか」**の2点です。

STEP 1　ホームに支払う月額（パンフレットの金額）

家賃 ＋ 管理費・共益費 ＋ 食費 ＝ **シニアホームに支払う月額**

STEP 2　実際の支払い総額

ホームに支払う月額 ＋ 介護保険（1割負担） ＋ 医療費 ＋ 日用品 ＝ **支払い総額**

注意！

パンフレット等に記載されている料金が、総額とは限りません。介護費・医療費は身体の状況によって変わります。お風呂の回数を増やす・通院・介護保険の上限を超えた分などは自費になります。**今後の長い生活を見据えて考えることが大切です。**

© ユースタイルラボラトリー株式会社

WORKSHEET

月額費用チェックシート

① ホームに支払う費用

家賃	¥
管理費／共益費	¥
生活支援サービス費 ※	¥
電気代（管理費込み or 個別）	¥
食費（30日分）	¥
合計① ※パンフレットの記載料金はここまで	¥

② そのほかにかかる費用

介護保険（1〜3割負担）	¥
医療費（訪問診療代・薬代）	¥
日用品（消耗品など）	¥
オムツ代	¥
その他（　　）	¥
合計②	¥

総額（① ＋ ②） ¥

※生活支援サービス費：基本的に「サービス付き高齢者向け住宅」のみが算定しています。施設によっては名称が異なる場合があります。
※記載の金額は概算であり、実際のご契約内容や条件により変動する場合がございます。予めご了承ください。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

入居費用・月額費用の計算方法

「一時金」とは？

ホームによっては、入居時に500〜1,000万円の一時金がかかるところがあります。そのしくみを4つのポイントでご説明します。

POINT
01

一時金は家賃の前払い

お支払いは入居時の一度限りです。

POINT
02

償却期間がポイント

何か月かけて家賃に充てていくか（償却期間）を必ず確認しましょう。

POINT
03

早期退去の場合、お金が戻ってくる

償却しきれていない分が返金されます（次ページで計算例）。

POINT
04

毎月の支払いを抑えられる

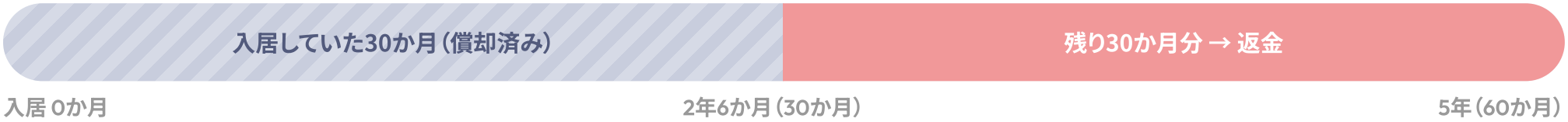
長期のご入居になるほど、メリットが大きくなります。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

計算例

一時金1,000万円・5年償却で、2年6か月で退去したら？

① 入居時に支払う一時金	② 初期償却後の残額	③ 返金額
初期償却30%（入居時に償却される分）	1,000万円 × 70%	700万円 × 30か月 ÷ 60か月
1,000万円	**700万円**	**約350万円** 残り2年6か月分が返金されます



※初期償却の割合・償却期間はホームによって異なります。ご契約前に重要事項説明書でご確認ください。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

COMPARISON

敷金と一時金の違い

	敷金	入居一時金
目的	修繕費等のための**担保金**	**家賃の前払い**
月額固定費への影響	なし	**家賃が減額される**
返還されるケース	退去時に、修繕費等を差し引いた額を返還	退去時に、**まだ償却していない分**を返還

© ユースタイルラボラトリー株式会社

有料老人ホームにご入居の場合

ご入居までの流れ（1／2）

STEP

STEP 1 見学ホームのご選定

- お伺いしたご要望をもとに、見学するホームを選定します。
- パンフレットをお送りします。
- お電話で、見学するホームや見学日を調整します。

※ホームへの見学予約は担当者が行いますので、ご安心ください。

STEP 2 ご見学

- 実際にホームを見学していただきます。
- 見学の際に、空室を一定期間確保する**「仮押さえ」**ができます。

※「仮押さえ」はご入居契約ではありません。お部屋を押さえるだけなので原則費用はかからず、キャンセルも簡単です。キャンセルのご連絡は担当者が代わりに行うこともできます。

STEP 3 ご入居意志

- 見学したホームの中から、ご入居を進めるホームをおひとつお決めください。
- ご入居申込書をご提出いただきますが、契約ではないため費用は発生しません。

※途中でホーム入所の方向ではなくなった場合も、キャンセル料はかかりません。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

有料老人ホームにご入居の場合

ご入居までの流れ（2／2）

STEP

STEP 4 医療データ・アセスメント

- ご入居意志をいただいたホームで話を進めるため、病院で医療データを作成していただきます。
- ホームの方がご本人様と面会するアセスメントも、並行して行います。

※次のご入居判定も含め、この工程で約1〜2週間かかります。

STEP 5 ご入居判定・ご契約

- 医療データ・アセスメントをもとに、ご入居判定が行われます。
- ご入居が可能な場合、ホームとご入居契約を結んでいただきます。

※ホームによっては、身元保証人様の収入がわかる源泉徴収票や住民票、ご本人様の介護保険証・医療保険証等が必要です。ご契約はご入居日当日に行われることもあります。

STEP 6 ご入居準備・ご入居

- ホームとご家族様のご都合を調整し、ご入居日を決めます。
- ご入居日までに、下着など生活必需品のご用意をお願いします。

© ユースタイルラボラトリー株式会社

THANK YOU

どんな小さなことでも、
お気軽にご相談ください。

ご本人様・ご家族様にとって納得のいく住まい選びを、
一緒に考えていきます。

EUSTYLE LABORATORY

© ユースタイルラボラトリー株式会社